

令和6（2024）年度とちぎっ子学習状況調査の結果（概要）について

栃木県教育委員会事務局義務教育課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査の実施により本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査の対象

県内の公立学校に在籍する以下の学年の全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第4・5学年、義務教育学校第4・5学年、特別支援学校小学部第4・5学年

イ 中学校調査

中学校第2学年、義務教育学校第8学年、県立中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年

(3) 調査の内容

ア 児童生徒に対する調査

(ア) 教科に関する調査

- ・ 小学校調査は、国語・算数・理科の3教科とし、中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科とする。
- ・ 出題範囲は、調査する学年の前学年までの学習内容とする。
- ・ 出題内容は、学習指導要領に基づき、教科の目標及び内容に即した基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力等に関わる内容とする。

(イ) 質問調査

- ・ 調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等に関する質問調査（以下「児童生徒質問調査」という）を、ICT端末を用いてオンラインによる回答方式にて実施

イ 学校に対する調査

- ・ 学校における指導に関する取組や学習環境等に関する質問調査（以下「学校質問調査」という）を、ICT端末を用いてオンラインによる回答方式にて実施

(4) 調査実施日 令和6（2024）年4月18日（木曜日）

(5) 調査を実施した学校・児童生徒数

学 年	実施校数	内 訳	児童生徒数
小学校第4学年	337校	小学校・義務教育学校 333校	15,056人
小学校第5学年		特別支援学校小学部 4校	14,803人
中学校第2学年	157校	中学校・義務教育学校 152校 特別支援学校中学部 5校	14,782人
全 体	494校		44,641人

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

平均正答率

(単位：%)

学年	教科	設問数	教科総合（県）	知識・技能	思考・判断・表現
小学校 第4学年	国語	27	66.0	65.7	66.3
	算数	29	50.2	54.7	38.3
	理科	24	72.8	72.8	72.8
小学校 第5学年	国語	27	63.4	72.8	57.0
	算数	29	52.9	59.3	40.7
	理科	27	59.8	59.2	60.4
中学校 第2学年	国語	26	59.6	73.1	51.2
	社会	31	45.8	47.5	42.7
	数学	30	50.5	57.3	40.3
	理科	31	55.5	62.8	48.7
	英語	29	45.6	48.9	40.1

(2) 児童生徒質問調査の結果

(質問項目数：小学校4・5年 94項目、中学校2年 113項目)

ア 教科の学習について

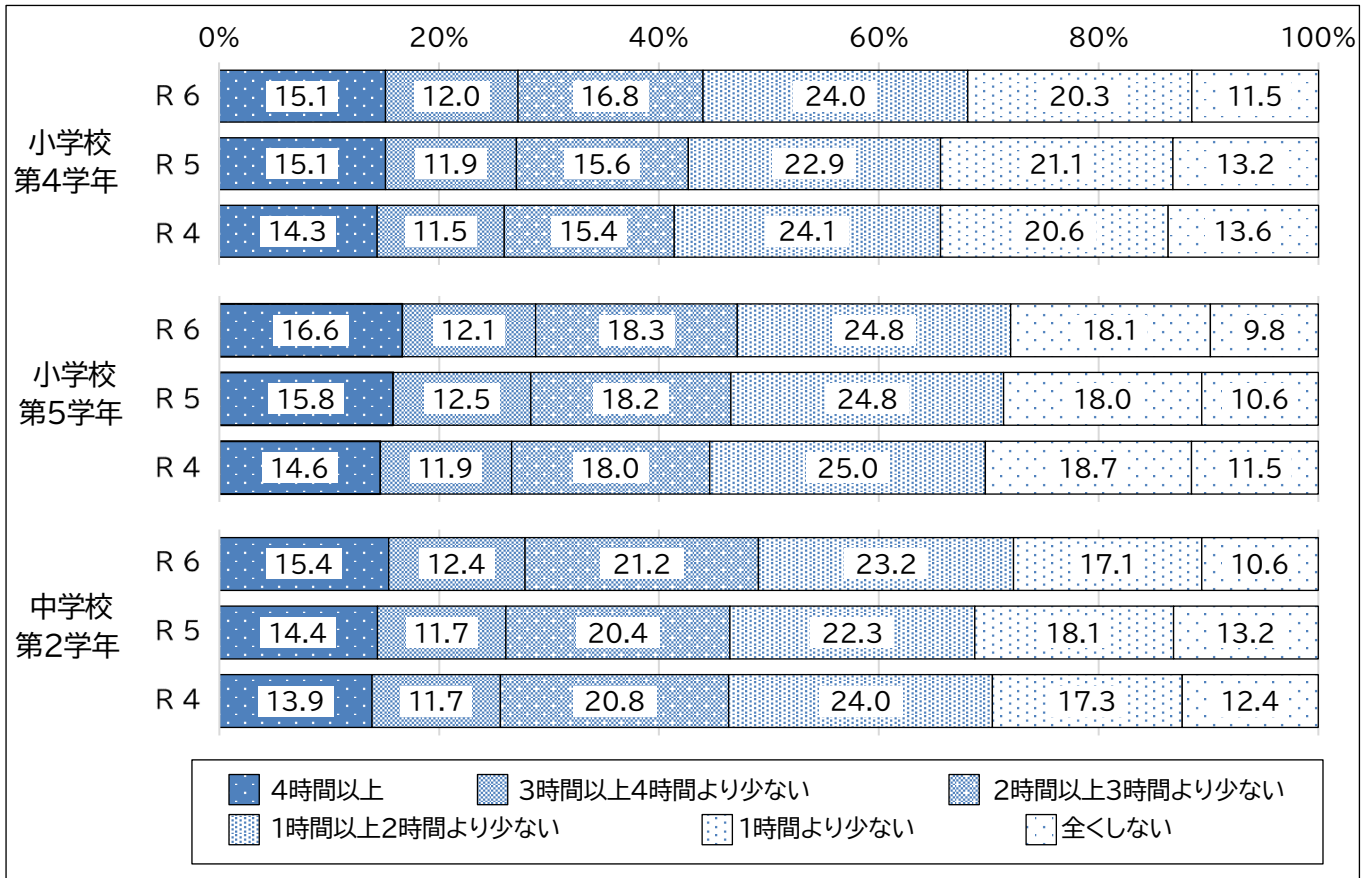
「次の教科の授業の内容はよく分かりますか。」の質問に対し、「はい」「どちらかといえば、はい」と回答した児童生徒の割合

(単位：%)

学年	年度	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校 第4学年	R6	90.2	86.6	88.7	95.8	
	R5	88.4	83.8	87.7	92.9	
	R4	89.0	84.2	88.4	92.2	
小学校 第5学年	R6	90.7	86.2	87.2	94.8	
	R5	90.5	86.0	86.2	92.5	
	R4	91.6	86.1	87.3	93.1	
中学校 第2学年	R6	87.9	80.6	85.1	85.8	76.1
	R5	88.1	78.4	75.0	79.9	69.7
	R4	88.8	79.7	78.0	82.1	70.8

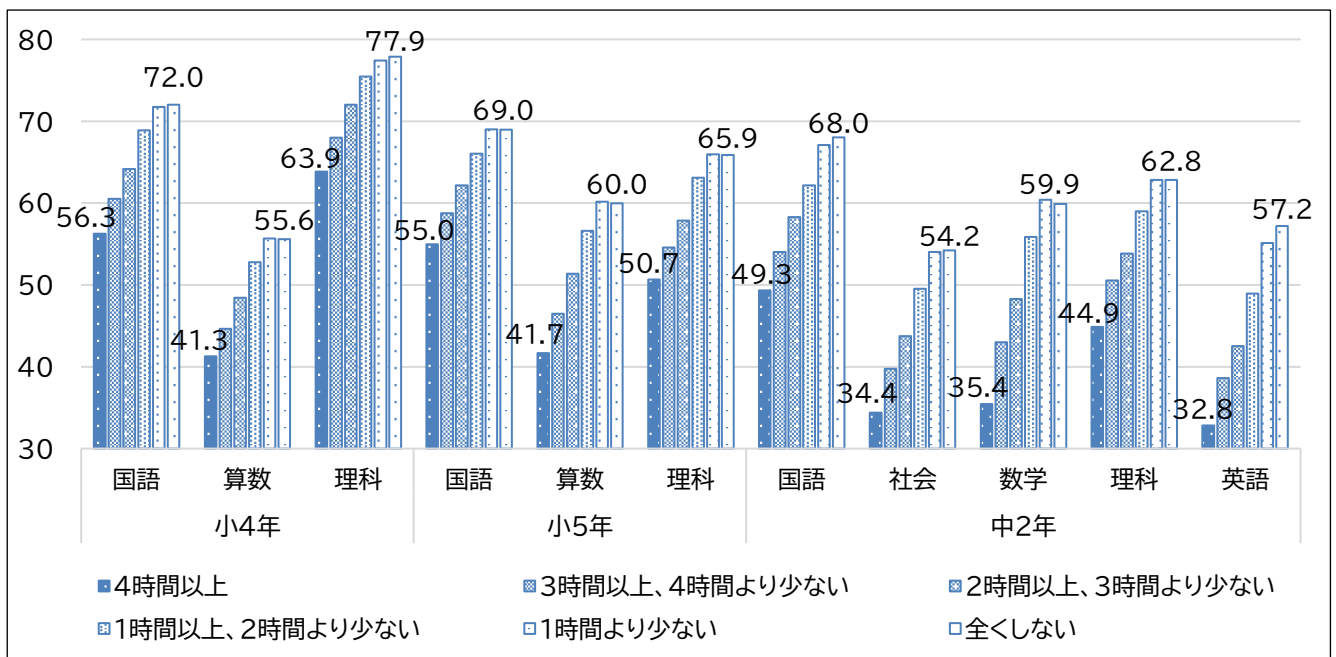
イ 家庭での生活について

「ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」の質問に対して回答した児童生徒の割合



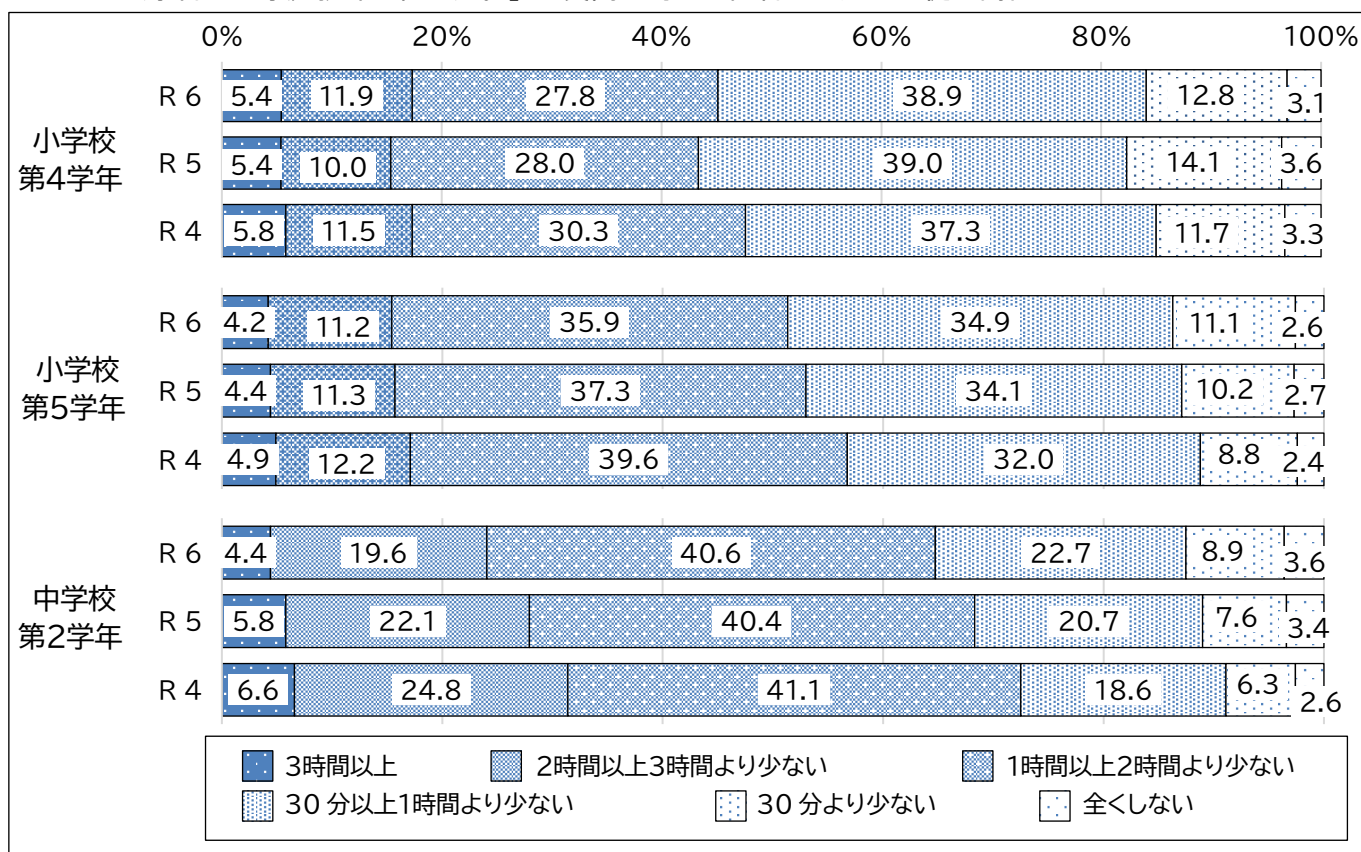
※ 上記の質問に対する回答別正答率

どの学年、教科においても、「ゲームをする時間」が「1時間より少ない」あるいは「全くしない」と回答した児童生徒の方が、ゲームをしている時間が長い児童生徒よりも平均正答率が高い傾向が見られる。その傾向は、学年が上がるにつれてより顕著になっている。



ウ 学習について

①「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師も含む）。」の質問に対して回答した児童生徒の割合

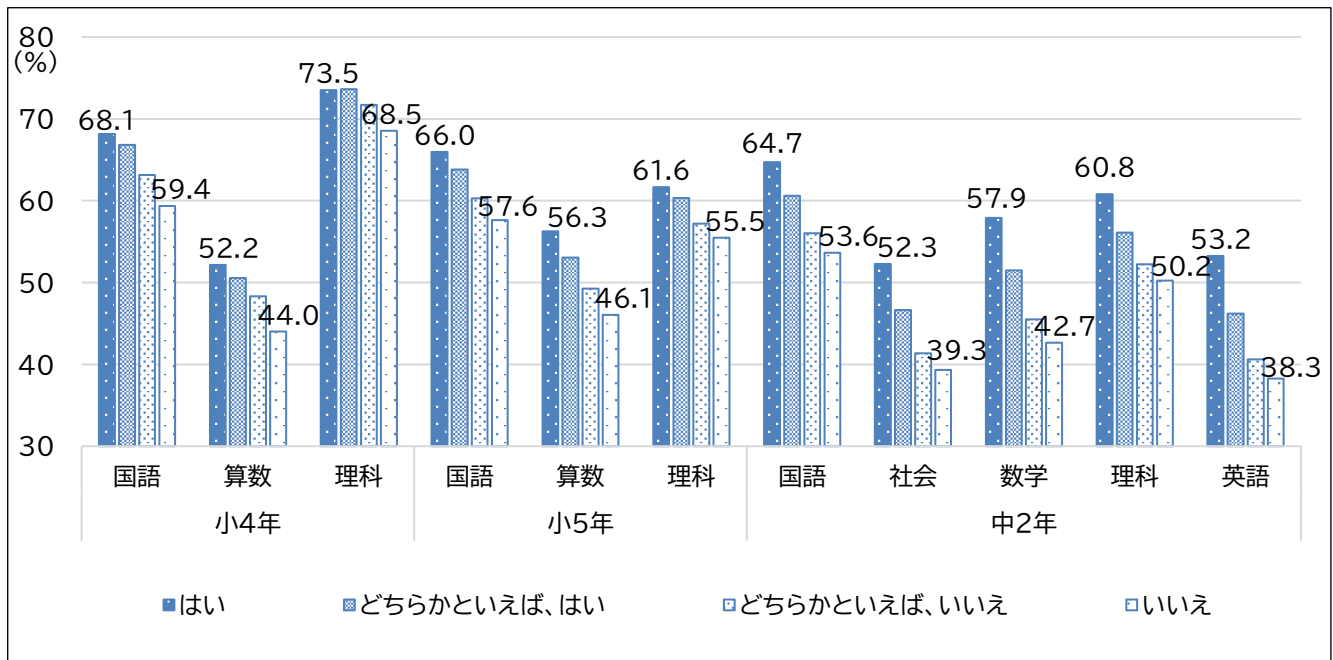


②「次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。」の質問に対し、「はい」「どちらかといえ、はい」と回答した児童生徒の割合 (単位: %)

学年	年度	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	家で、学校の授業の復習をしている	家で、テストで間違えた問題について勉強をしている	毎日の生活が充実していると感じている	学習に対して、自分から進んで取り組んでいる	グループなどの話し合いに自分から進んで参加している
小学校第4学年	R 6	76.0	68.0	68.6	89.2	75.8	78.4
	R 5	70.4	63.6	66.4	85.4	73.8	76.3
	R 4	70.8	63.3	65.4	85.0	73.4	73.6
小学校第5学年	R 6	75.3	67.8	65.0	90.7	74.0	77.2
	R 5	71.6	65.3	64.8	89.2	75.1	76.3
	R 4	72.3	66.7	65.6	89.0	76.1	75.6
中学校第2学年	R 6	67.6	72.2	63.8	87.7	62.7	78.0
	R 5	63.6	70.6	65.2	88.5	69.6	77.4
	R 4	63.3	72.7	67.3	87.8	72.3	77.6

※ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の質問に対する回答別正答率

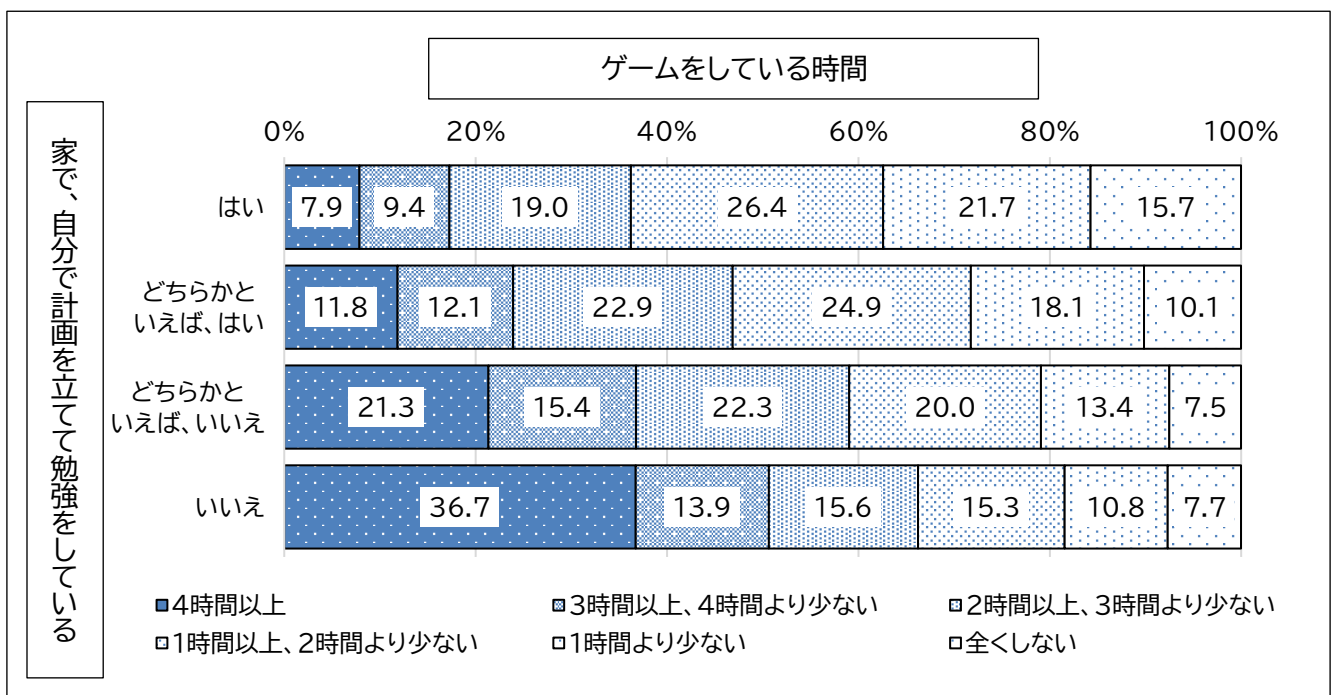
どの学年、教科においても、「はい」と回答した児童生徒の方が、「いいえ」と回答した児童生徒よりも各教科の平均正答率が高い傾向が見られる。



※ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の質問に対する回答結果と「ゲームをしている時間」との関連（中学校第2学年）

上記の質問に対して「はい」と回答している生徒の中の 15.7%の生徒が「全くしない」と回答し、21.7%の生徒が「ゲームをしている時間」が「1時間より少ない」と回答している。逆に、上記の質問に対して「いいえ」と回答している生徒の中の 36.7%の生徒が「ゲームをしている時間」が「4時間以上」と回答している。

このことから、家で自分で計画を立てて勉強している生徒の方が、ゲームをしている時間が短い傾向が見られる。これは、小学校第4学年及び小学校第5学年においても同様の傾向が見られる。



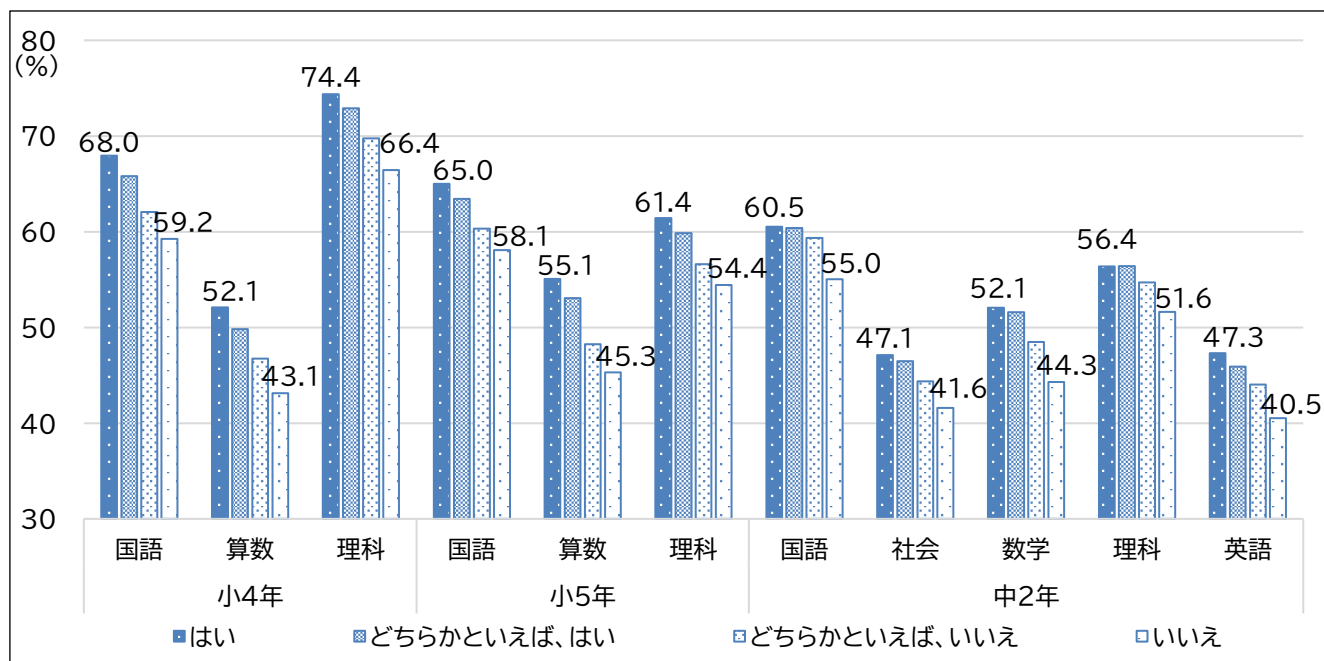
③「次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。」の質問に対し、「はい」「どちらかといえば、はい」と回答した児童生徒の割合

(単位：%)

学年	年度	勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある	難しい問題であろうと、よりやる気が出る	できるだけ自分一人の力で課題を解決しようとしている	自分には、よいところがあると思う	家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる	先生は学習のことについてほめてくれる。
小学校 第4学年	R 6	84.2	59.0	83.2	83.8	86.9	88.3
	R 5	81.6	59.1	83.2	80.8	84.1	85.4
	R 4	81.5	58.7	84.1	79.6	84.1	83.8
小学校 第5学年	R 6	81.7	52.2	82.8	82.1	87.3	89.3
	R 5	81.6	53.9	84.8	79.7	85.7	87.2
	R 4	81.8	55.4	85.4	79.2	85.5	86.9
中学校 第2学年	R 6	72.3	38.5	75.1	78.9	79.4	82.4
	R 5	74.6	39.0	78.9	75.8	78.1	79.3
	R 4	75.9	41.4	79.8	74.3	77.4	80.5

※ 「自分には、よいところがあると思う」の質問に対する回答別正答率

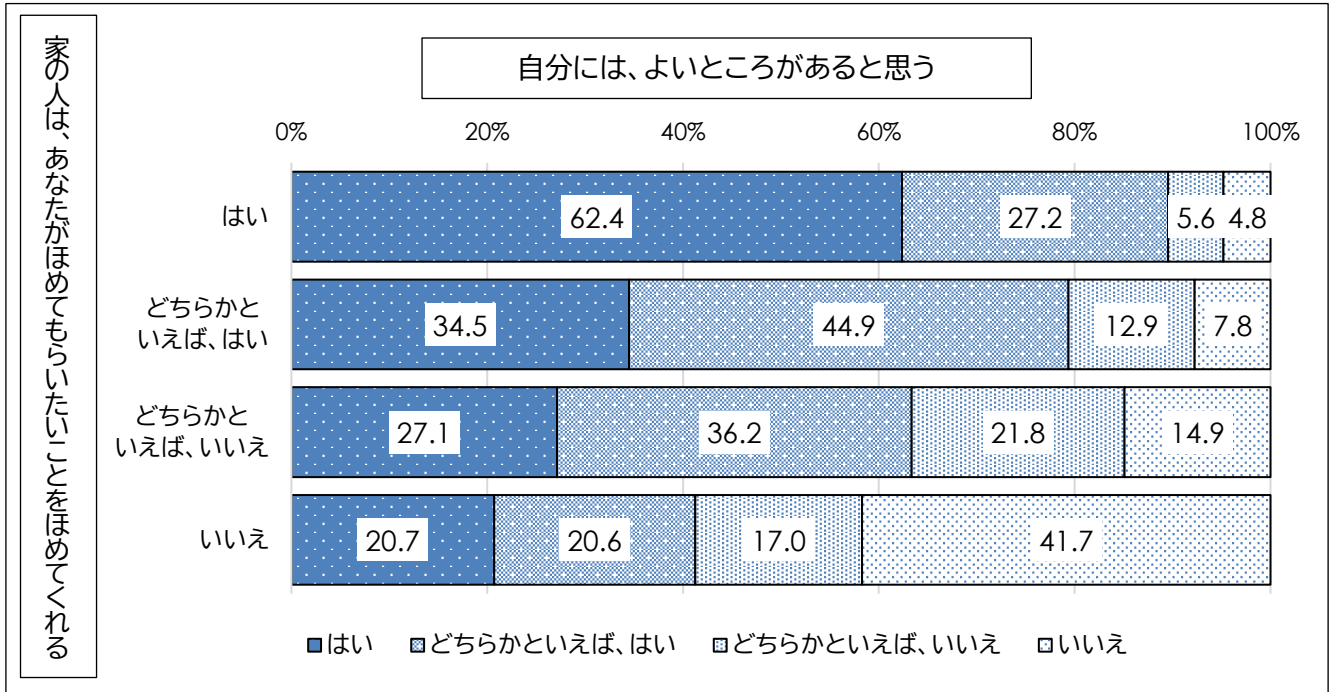
どの学年、教科においても、「はい」と回答した児童生徒の方が、「いいえ」と回答した児童生徒よりも各教科の平均正答率が高い傾向が見られる。



※ 「家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」の質問に対する回答結果と「自分には、よいところがあると思う」の質問に対する回答結果との関連（小学校第5学年）

「家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」の質問に対して「はい」と回答している児童の中の62.4%が「自分には、よいところがあると思う」の質問に対しても「はい」回答している。

このことから、家の人は、ほめてもらいたいことをほめてくれると思っている児童ほど、自分にはよいところがあると感じている傾向にある。これは、小学校第4学年や中学校第2学年においても同様の傾向が見られる。



(3) 学校質問調査の結果

(質問項目数：小学校74項目、中学校67項目)

- 「調査結果の分析を全教職員で行っている」の質問に対して回答した割合

(単位：%)

学年	年度	はい	どちらかといえば、 はい	どちらかといえば、 いいえ	いいえ
小学校	R 6	85.8	12.5	1.5	0.3
	R 5	81.6	16.6	1.8	0.0
	R 4	68.6	24.0	6.0	0.9
中学校	R 6	59.9	28.0	9.6	1.3
	R 5	58.0	31.2	8.9	1.9
	R 4	45.6	38.0	13.9	0.6

- 「学力向上改善プランの内容の作成に当たっては、学力向上担当者を中心に、教員間で課題や改善策について話し合っている」の質問に対して回答した割合

(単位：%)

学年	年度	はい	どちらかといえば、 はい	どちらかといえば、 いいえ	いいえ
小学校	R 6	79.2	20.5	0.3	0.0
	R 5	74.1	23.3	2.3	0.3
	R 4	73.4	24.6	1.4	0.0
中学校	R 6	58.0	36.9	3.8	0.0
	R 5	58.0	35.7	5.7	0.6
	R 4	60.1	34.8	4.4	0.0

- 「学力向上改善レポートの内容の作成に当たっては、学力向上担当者を中心に、教員間で課題の解決状況や改善策について話し合っている」の質問に対して回答した割合

(単位：%)

学年	年度	はい	どちらかといえば、 はい	どちらかといえば、 いいえ	いいえ
小学校	R 6	71.2	28.2	0.6	0.0
	R 5	66.2	30.9	2.6	0.3
	R 4	64.4	31.9	2.5	0.8
中学校	R 6	52.2	37.6	8.3	0.6
	R 5	49.7	42.0	7.0	1.3
	R 4	55.1	39.2	5.1	1.3

- 「授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている」の質問に対して回答した割合及び回答別正答率
(単位：%)

学校	はい	どちらかといえば、 はい	どちらかといえば、 いいえ	いいえ
小学校	27.6	60.5	11.9	0.0
中学校	20.4	61.8	16.6	0.0

※ 「授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている」の質問に対する回答別正答率

小学校、中学校のどちらにおいても、この質問に対して「はい」と回答した学校の方が、「いいえ」と回答した学校よりも各教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

このことから、児童生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、課題解決的な学習を充実させることが大切である。

